

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 家計調査(2012年6月)

発表日2012年7月31日(火)

～4-6月期の個人消費は好調だったが、先行きには懸念～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主席エコノミスト 新家 義貴
TEL : 03-5221-4528

(%)

		実質消費支出 (二人以上世帯)				実質可処分所得 (勤労者世帯)		消費性向 (勤労者世帯)	
		合計		除く住居等(※)		前年比	前期比	季調値	前期比
		前年比	前期比	前年比	前期比				
11	1月	▲ 0.3	0.9	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 2.7	▲ 0.7	75.9	1.6
	2月	0.5	▲ 0.8	0.2	0.4	2.1	4.1	72.3	▲ 3.6
	3月	▲ 8.2	▲ 3.1	▲ 7.2	▲ 3.5	▲ 3.0	▲ 4.7	72.4	0.1
	4月	▲ 2.0	0.8	▲ 2.0	0.4	▲ 1.8	1.8	72.1	▲ 0.3
	5月	▲ 1.2	▲ 0.4	▲ 1.1	0.5	▲ 2.9	▲ 1.6	73.4	1.3
	6月	▲ 3.5	0.5	▲ 2.8	0.5	▲ 5.9	1.1	72.6	▲ 0.8
	7月	▲ 2.1	0.9	▲ 1.0	1.4	1.1	2.2	71.9	▲ 0.7
	8月	▲ 4.1	▲ 0.2	▲ 4.0	▲ 1.9	▲ 1.9	▲ 2.1	74.0	2.1
	9月	▲ 1.9	0.8	▲ 1.6	1.5	▲ 1.4	1.2	74.1	0.1
	10月	▲ 0.4	0.3	▲ 1.7	▲ 0.2	▲ 3.8	2.3	72.7	▲ 1.4
	11月	▲ 3.2	▲ 0.4	▲ 4.0	▲ 0.7	▲ 1.2	▲ 2.8	74.1	1.4
	12月	0.5	0.0	▲ 0.1	0.3	▲ 1.0	▲ 1.2	74.5	0.4
12	1月	▲ 2.3	▲ 0.2	▲ 1.4	0.8	1.4	1.3	73.7	▲ 0.8
	2月	2.3	1.8	1.9	1.4	1.8	4.6	72.2	▲ 1.5
	3月	3.4	▲ 0.1	3.3	▲ 0.4	3.7	▲ 2.7	72.9	0.7
	4月	2.6	▲ 0.8	3.3	0.2	2.3	0.2	73.0	0.1
	5月	4.0	1.5	2.7	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 4.2	74.6	1.6
	6月	1.6	▲ 1.3	▲ 0.4	▲ 2.1	3.7	5.3	72.0	▲ 2.6

(出所) 総務省「家計調査報告」

※「住居」、「自動車購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている

○ 天候不順等もあり、6月の消費は低調

総務省から公表された6月の家計調査実質消費支出(二人以上世帯)は前年比+1.6%となり、市場予想(+2.8%)を下回った。前月比でも▲1.3%(5月:同+1.5%)と減少している。エコカー補助金効果で自動車販売が好調だったことに加え、住宅版エコポイント終了への駆け込み需要から住宅の設備修繕・維持などが伸びたが、その他の消費が低調で、消費全体としては悪化した。

また、住居、自動車購入、贈与、仕送り金などを除いた「除く住居等」で見ると前年比▲0.4%と5ヶ月ぶりにマイナスに転じ、前月比でも▲2.1%と減少した。好調だった自動車や住居が除かれているため、「除く住居」で見た方が減少幅は大きくなっている。

このように、6月の個人消費は低調な結果に終わった。小売業販売や業界統計など他の消費関連指標とも整合的な内容である。4、5月に好調だった反動が出た面があることに加え、6月は気温が低めだったため季節衣料の販売が伸び悩んだことや、台風・豪雨等の天候不順から外出が手控えられたことが押し下げ要因になったものとみられる。

○ 4-6月期の個人消費は好調だったが、先行きには懸念

6月の消費は減少したものの、4、5月の貯金が効く形で、4-6月期のGDPベースの個人消費は前期比プラスを維持できる可能性が高そうだ。うるう年要因の剥落という下押し要因があるなかでの前期比プラ

